

一般社団法人日本疫学会 第2回定時社員総会 議事録

日時	2018年(平成30年)2月2日(金) 17:00-18:00
場所	コラッセ福島 第1会場 多目的ホール(4F)
出席者	176名(内 委任状提出者:79名) 欠席者数:9名

1. 磯理事長より、代議員 176 名のうち、出席代議員 88 名、委任状提出代議員 79 名と、過半数に達しており本社員総会が成立したことが報告された。また、議事録署名人として、井上真奈美先生と曾根博仁先生が承認された。
2. 2017 年度事業について喜多村事務局長代理から下記の報告があった。
 - 1) 学術総会の開催に関する事業(定款第 2 条 1 項)
第 27 回日本疫学会学術総会、第 24 回 JEA 疫学セミナー
2017 年 1 月 25-27 日 山梨(山縣然太朗 学会長)
学術総会 770 名参加、JEA 疫学セミナー244 名参加
 - 2) 学会誌発行に関する事業(定款第 2 条 2 項)
会誌 Journal of Epidemiology Vol.26(12), Vol.27(1)~(11)の刊行
 - 3) 情報の収集及び提供に関する事業(定款第 2 条 3 項)
ニュースレター 第 49 号、第 50 号の刊行
「一般の方向け 疫学紹介スライドショー」コンテスト(敬称略)
最優秀作品賞 柿崎 真沙子(藤田保健衛生大学)
最優秀作品賞 山北 満哉ほか(日本運動疫学会スライドショーコンテスト WG)
喫煙の健康影響に関する疫学研究データベースを作成し、HP に公開
医療情報、疫学データベース等の利用促進に関する検討
倫理問題についての諸課題の検討
ホームページ(日・英)、疫学会通信、メルマガによる情報提供
 - 4) 人材の教育、研修に関する事業(定款第 2 条 4 項)
第 7 回疫学サマーセミナー (8/26 56 名参加)
 - 5) 支援、交流に関する事業(定款第 2 条 5 項)
疫学の未来を語る若手の会(若手の会の尾瀬功世話人代表幹事から報告があった。)
現在の世話人体制: 23 人
若手の会メーリングリスト: 登録者数 271 名(2018 年 1 月 29 日現在)
配信数 95 通(2016 年 12 月 1 日~2017 年 11 月 30 日)
第 22 回疫学の未来を語る若手の集い(1/25、102 名参加、懇親会 89 名参加)

若手セッション@国際疫学会総会(8/21、各国より70名参加)

日本疫学会サマーセミナーのチューター、懇親会(8/25、チューター12名派遣)

第3回疫学若手の会合宿@つくば(10/7-8、42名参加)

国際疫学会(IEA)とのJoint Membership強化

国際疫学会(WCE2017)の開催補助、疫学会ブース出展@大宮(8/19-22)

第1回日韓台ジョイントセミナー@WCE2017(8/21)

第28回学術総会トラベルグラント選考(6名)

疫学研究支援(1件)

関連団体との連携

6) 資格の認定に関する事業(定款第2条6項)

疫学専門家の養成について検討(認定制度の規定・認定基準・試験内容等の検討、受験準備用に「はじめて学ぶやさしい疫学」を改訂中)

社会医学系専門医制度の基本プログラムの実施に協力

7) 表彰に関する事業(定款2条7項)

日本疫学会功労賞受賞者(敬称略)

山縣 然太郎(山梨大学大学院)

日本疫学会奨励賞受賞者(五十音順、敬称略)

相田 潤(東北大学大学院)

大林 賢史(奈良県立医科大学)

島津 太一(国立がん研究センター)

横道 洋司(山梨大学大学院)

優秀査読者(五十音順、敬称略)

久松 隆史(島根大学)

溝上 哲也(国立国際医療研究センター)

村上 慶子(帝京大学)

Paper of the Year(敬称略)

中村 孝裕(東邦大学)

8) その他の関連する事業(定款第2条8項)

倫理審査(1件)

9) その他

役員などのCOI自己申告書の収集・管理

法人化定着のための各種規程整備

将来構想の検討

代議員選挙、理事・監事選挙、理事長選挙の実施

名誉会員の推薦

第2回社員総会、2017年度第1回～第3回理事会

以上の事業報告については、理事会で承認された。

3. 2017 年度決算書について事務局長代理から、貸借対照表および正味財産増減計算書を元に下記の報告があった。

2017 年度の資産合計は、36,884,648 円、負債合計は、2,900,007 円である。また、指定正味財産と一般正味財産を合わせた正味財産合計は 33,984,641 円で、負債及び正味財産合計は、36,884,648 円である。

一般正味財産増減の部における経常増減の部について、当年度における経常収益は、受取会費 17,843,890 円、事業収益 20,024,997 円、受取補助金等 3,021,301 円等があり、経常収益計 40,894,765 円であった。

経常費用は、事業費 30,636,463 円、委員会活動 1,514,375 円、学会事務局 6,001,236 円等があり、経常費用計 40,230,558 円で、当期経常増減額は 664,207 円であった。

経常外増減の部について、一般正味財産期末残高は、31,693,298 円であった。

指定正味財産増減の部において、日本学術振興会からの受取補助金等 3,900,010 円と一般正味財産への振替額マイナス 3,021,301 円により、指定正味財産期末残高は 2,291,343 円となり、正味財産期末残高は、33,984,641 円で、貸借対照表の正味財産合計と一致する。

第 27 回学術総会の収支差額 2,092,191 円は、国際化基金に組み入れた。

2017 年度事業報告及びその附属明細書、理事の職務の執行、計算書類及びその附属明細書について、西信雄監事より監査報告があり、2017 年度決算書は承認された。

4. 2018 年度事業計画について事務局長代理より下記の報告があった。

- 1) 第 28 回日本疫学会学術総会、第 25 回 JEA 疫学セミナーの開催
- 2) 会誌 Journal of Epidemiology Vol.27(12), Vol.28(1)-(11)の刊行
- 3) ニュースレター第 51 号、52 号の刊行、医療情報・疫学データベース等の利用促進に関する検討、倫理問題についての諸課題の検討、ホームページ(日・英)、疫学会通信、メルマガによる情報提供
- 4) 第 8 回疫学サマーセミナー等の開催、女性研究者の会(仮称)の創設
- 5) 疫学の未来を語る若手の会集い等の開催、国際疫学会(IEA)との連携強化、トラベルグラントの募集・選考、疫学研究支援、関連団体との連携
- 6) 疫学専門家認定制度開始の準備(試験委員会、認定委員会等の設置、認定制度の規定・認定基準・試験内容等の検討、受験準備用に「はじめて学ぶやさしい疫学」の改訂)
- 7) 功労賞・奨励賞の選考、優秀査読者賞、優秀論文賞の選考

8) 将来構想検討委員会報告書の作成

以上の事業計画については、理事会で承認された。

5. 2018 年度予算書について、事務局長代理より下記の報告があった。

事業活動収入については、会費収入 1,830 万円が見込まれ、事業収入、日本学術振興会からの補助金等収入、国際化基金からの組み入れ等を合わせて、事業活動収入計を 4,517 万円として計上した。

事業活動支出については、事業費支出として、会誌発行費 493 万円、JE 編集委員会費 1,223 万円、疫学の未来を語る若手の集い 10 万円、総会準備費 150 万円、学術総会 1,080 万円を計上した。賛助会費は、15 万円、委員会活動費は、144 万円、理事会 45 万円、学会事務局 814 万円、管理費 149 万円、都民税 7 万円を計上し、事業活動支出計 4,130 万円が見込まれ、事業活動収支差額は 386 万円となる。

以上の予算書については、理事会で承認された。

6. 定款の文言修正について

議長より、定款第 5 条(3)「名誉会員 当法人の事業に多大の貢献をし、理事会において推薦され、学術総会で承認された者」の「学術総会」を「社員総会」に修正することが、理事会で提案されたことが報告され、承認された。

7. 役員の選任について

議長より、昨年実施した理事・監事選挙で選出された理事候補・監事候補、および指名理事候補が紹介され、下記の通り承認された。

任期:本日～2020 年に開催される社員総会(順不同・敬称略)

選出理事

祖父江 友孝	(大阪大学大学院)
栗山 進一	(東北大学 災害科学国際研究所)
玉腰 暁子	(北海道大学大学院)
小橋 元	(獨協医科大学医学部)
近藤 克則	(千葉大学 予防医学センター)
曾根 博仁	(新潟大学大学院)
井上 茂	(東京医科大学)
井上 真奈美	(国立がん研究センター)
岡村 智教	(慶應義塾大学)
尾島 俊之	(浜松医科大学)

若井 建志 (名古屋大学大学院)
本庄 かおり (大阪医科大学医学部)
安田 誠史 (高知大学医学部)
金子 聡 (長崎大学熱帯医学研究所)
郡山 千早 (鹿児島大学大学院)

指名理事

片野田 耕太 (国立がん研究センター)
田中 純子 (広島大学大学院)
中山 健夫 (京都大学大学院)
松尾 恵太郎 (愛知県がんセンター研究所)
三浦 克之 (滋賀医科大学)

監事

西 信雄 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
横山 徹爾 (国立保健医療科学院)

8. 新名誉会員

議長より理事会で推薦された新名誉会員候補が紹介され、下記の通り承認された。

岸 玲子 (北海道大学)
児玉 和紀 (放射線影響研究所)
田島 和雄 (美杉クリニック)
丸井 英二 (人間総合科学大学)

9. 第30回学術総会 学会長

議長から、第30回日本疫学会学術総会学会長、第27回疫学セミナー・オーガナイザーとして、京都大学大学院の中山健夫先生が推薦され、理事会で承認されたことが報告された。

10. 「日本疫学会 たばこ産業との関係に関する指針」について、事務局長代理より説明があり、理事会で承認されたことが報告された。

11. 庶務報告について、事務局長代理より下記の報告があった。

A) 会員数(2018年1月1日現在)

名誉会員:27名、代議員:176名、普通会員:1,957名(合計:2,160名)

※普通会員のうち、2017年度入会学生会員:104名

※1年間で、会員数123名増加

B) 年会費納入状況(2018年1月20日現在)

2017年度会費納入義務のある会員:2,031名

2017年度までの会費納入完了者：1,801名(89%)

2年以上の滞納者：36名

C) 疫学会通信(2018年1月1日現在)

登録者数：2,133名(登録率99%) 2017年発行回数：99回

12.第29回日本疫学会学術総会会長の津金昌一郎先生よりあいさつがあった。

13.磯理事長より退任のあいさつがあった。

14.理事長選挙で選出され、理事会で承認された新理事長 祖父江友孝先生(大阪大学大学院)よりあいさつがあった。

以上